

北海道知事 殿
札幌市長 殿



根拠なき休校措置！こども 1 人月 3 万円の現金補償を求めます！

根拠なき休校措置への現金補償を求めます（請求期間 2 月 27 日～春休み、4 月 12 日～5 月 31 日）。この 3 か月の根拠休校措置に伴い、子どもが在宅することに伴う現金補償として、こども 1 人につき月 3 万円の現金による補償を求めます。

例 1) こども 1 人の場合 $3 \text{ 万円} \times 3 \text{ か月} = 9 \text{ 万円}$

例 2) こども 2 人の場合 $3 \text{ 万円} \times 3 \text{ か月} \times 2 \text{ 人} = 18 \text{ 万円}$

子どもの貧困が問題だとしながら、一斉休校という措置が、私たち保護者が仕事をできない状況を作り出し、子どもの貧困を生み出し子どもの貧困の問題や虐待の問題に直結しています。

2 月の段階から、北海道による休校措置は科学的根拠を伴わないことは明らかでした。安易な判断による休校という措置により、私たち子育て世帯の生活は大変厳しいものとなっています。科学的根拠に伴わない休校措置により、預かり先がないために仕事ができなかったこと、そのために収入が低下したこと、雇止めのような状況が発生していること、子どもの食費、在宅のための光熱費消耗品費、学習環境のバックアップなど、私たちの家計に大きなダメージを与えました。この 3 か月の意味なき休校措置に伴い、子どもが在宅することに伴う補償として、子ども 1 人あたり月 3 万円の現金給付を求めます。

長きに渡った根拠と対策なき、休校措置への補償と政治的責任を強く求めます。

子育て世帯の皆さん、私たちと一緒に、北海道、札幌市の政治に私たちの声を届けましょう。

請願事項

一、こども 1 人月 3 万円の現金補償をしてください

二、私たち保護者の仕事環境を維持できるための科学的根拠に基づくウイルス対策と新生活様式に基づく学校運営をしてください。

三、休校中 3 か月の期間のため発生している教育格差の是正に努めてください。

氏 名	住 所

【 取り扱い団体 NP0 北海道ネウボラ 】